

Google検索で「朝日新聞」をみつけやすく。今すぐかんたん登録

朝日新聞 > 記事

脚光浴びる「フクオカ・メソッド」 半世紀前に考案、22カ国に拡大

2025年7月1日 10時47分

鳥尾祐太



パキスタンに導入された、福岡方式のごみの埋め立て場の様子=福岡市提供

福岡発のごみ埋め立て技術が海外で脚光を浴びている。メタンガスの発生を抑える効果があり、発展途上国を中心に導入が進んでいる。半世紀前に考案された「フクオカ・メソッド（福岡方式）」とも呼ばれる技術。広がった背景とは――。

北アフリカのチュニジア。北海道の約2倍の面積に、日本の総人口の約1割が生活する。今年5月下旬、同国に福岡方式を「輸出」することが発表された。福岡方式は1988年から海外で導入されていて、今回で22カ国目となる。

「福岡方式は、環境問題に対応するのに大変マッチしている」。研修のために来日したチュニジア廃棄物管理公社のミリアム・ジェナイさんは語った。導入の背景にあるのが、増え続けるごみ問題だ。

ジェナイさんによると、同国では人口増加に伴ってごみの量が年1.2%増加。現在は掘削した平地にごみをそのまま埋める手法が一般的だが、環境への負荷が大きいのだという。

この問題を解決する方策として、白羽の矢が立ったのが福岡方式だった。工事は2025年末に終わる予定で、年約512トンの二酸化炭素の排出削減が期待される。福岡市によると、10年間でみずほPayPayドーム約60個分の森林面積に相当する削減効果を生み出すという。

福岡方式は1975年、福岡大学の研究者が市の協力を得て実用化された。正式名称は「準好気性埋立構造」。埋め立て地の底にパイプを設置して外気を通すことで微生物による分解を促進する。メタンガスの発生を抑えられるのが特徴だ。79年には旧厚生省（現環境省）の指針で日本の「標準構造」に採用されている。

ネパールやミャンマー、サモアなど途上国などで普及した理由について、福岡大の田中綾子教授（薬学）は「(工事にかかる) 値段が安く、その国で材料も調達可能だからだ」と話す。パイプの素材として使う塩化ビニールの代わりに、竹を使ったこともあるという。通常は埋め立てから人が生活できるまで40～50年かかる土地でも、福岡方式では30年程度で済むとされる。

ただ、課題もある。水質のモニタリングや設備のメンテナンスを担う人材の不足だ。メタンガスが充満し、爆発事故が起これば人が亡くなるリスクもある。田中教授は「最初から、ちゃんとしたシステムで管理しておけばリスクは減る。それができる体制となるのが大事だ」と話す。

注目の連載記事 →

もっと見る

いつも、どこかで
夫と別れて30年、まさか私が
看取るとは 交錯した人生と
最後の日々



読み解く 世界の安保危機
戦後秩序と日本 歴史基盤を
作った東京裁判から80年 米
識者の視点



日本整形外科学会、次の100年へ決意

誰もが生涯、自分で動ける社会の創造へ

アクセスランキング →

もっと見る

読まれています 昨日のトップ5

- 大学が去ったまち、学生消え先細る市の未来は 移転1年の現場歩いた
- ホルムズ避けてタンカーが日本へ 半数超がOPEC脱退のUAEから
- 俳優の五十嵐淳子さんが死去、73歳 中村雅俊さんの妻
- 本2千冊、読まないのに捨てられない 38歳男性が執着した優越感
- トランプ氏の行う「人々の感情の操作」 ホックシールド氏の警鐘

注目コンテンツ

ご案内

【&Travel】
朝風呂、幸せな1日の始まり
ニッポン銭湯風土記 京都



【&w】
「やられた」恋に落ちた花束
花のない花屋



【&Travel】
“幻の城”とされた坂本城
城旅へようこそ



【&M】
昭和レトロな京都の喫茶店
口福のコーヒー



【&w】
大人こそピンク！春メイク
心・美・体



好書好日
「見えるか保己一」の魅力は
蝉谷めぐ実の傑作評伝を味わう



Re:Ron
ヤングケアラーへの伴走支援
家族社会学者・斎藤真緒さん



今回の福岡方式のチュニジアへの導入は、**温室効果ガスの削減**につながる技術を他国で普及させることで、自国の削減分として算入できる「**二国間クレジット制度**」(JCM)の対象となる。福岡方式で、JCMが使われるのは初めて。

温暖化対策の国際ルール「パリ協定」に基づき、日本は温室効果ガスについて2035年度に60%減(13年度比)を目標に掲げている。23年度は約10億1700万トンで27.1%(同)減だった。環境省によると、JCMは国家間の**排出量取引制度**で、チュニジアの削減分の一部は日本の削減目標の達成分としてカウントすることができる。

環境省と国連工業開発機関(UNIDO)は2020年に共同宣言に署名。22年度から、環境省の拠出金をもとに、UNIDOがアフリカの国々と日本のJCMプロジェクトのマッチング支援を行っている。

有料会員になると会員限定の有料記事もお読みいただけます。

今すぐ登録(1カ月間無料)

ログインする

※無料期間中に解約した場合、料金はかかりません

お気に入りのニュースサイトをGoogleで優先的に表示できます。[今すぐ「朝日新聞」をかんたん登録](#)

この記事を書いた人



鳥尾 祐太

ネットワーク報道本部 | 西成・動物園担当

+ フォロー

専門・関心分野

無国籍・移民・難民・環境訴訟、東南アジア

関連トピック・ジャンル

ジャンル

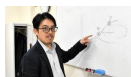
社会・調査報道

関連ニュース

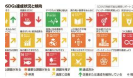
レジ袋有料化は海岸ごみを減らす? 無規制よりは一定効果がありそう



川を流れるプラごみ、AIで自動検出 海洋への流出軽減に貢献期待



日本は19位に後退 6目標が最低評価に SDGs達成度ランキング



給食作り、0.5円オーバーしてもNG 子どもの「教材」に四苦八苦



日本のおかしな移住政策 北海道の過疎の村で女性議員が感じたこと



リヤカーでおにぎり販売 27歳元契約社員が見つけた「天職」



注目ニュースが1分でわかる

ニュースの要点へ

● 5月3日(日)

- 岩手・大槌の山林火災「鎮圧」
- 高市首相 新外交方針を表明
- ボクシング「世紀の一戦」



● 5月2日(土)

- 錦織圭、今季限りで引退表明
- メットライフ生命、無断取得



アエラストイルマガジン

TOKYOROOMS展

40の部屋、40通りの生き方



Aging Gracefully

ステージ4の肺がんと闘う

T-BOLAN上野博文さん



GLOBE+

食を愛した東海林さだおさん

88年、生涯現役だった観察眼



先生コネクト

先生の課題解決を応援する

授業が変わる 最新情報を配信



朝日新聞Thinkキャンパス

「宝塚歌劇」を女子大で学ぶ

大学のいまを、ともに考える。



Reライフ.net

室井滋さん特別選考委員に

第6回Reライフ文学賞



展覧会・イベント情報

「少女」も あの名品も

いち押しの見どころを紹介



PR 注目情報

CO2削減めざせ 神戸の大学生が未来へ行動

PUFFYと高校生、あのダンスでコラボ

最低限知っておきたい「相続のキホン」とは?

すべての人の「学び」を応援!【寺子屋朝日】

MBA、夢じゃない 社会人大学院

東経大・小川学長が語る「実学重視の学び」

働き方・就活

動画ランキング →

動画一覧



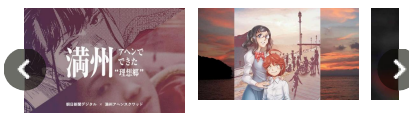
湧き出てもゴミになる「石油の里」原油高でも「どう...

「スマホ農場」でつくる閲覧数 SNS時代の「正義」...

参拝本一の祈

写真 →

フォトギャラリー



満州アヘンでできた理想郷 カラー化写真

「水俣病」を深く知るために

遠慮デニ